

大関照ノ富士誕生

鳥取城北高「上を目指して精進」
出身2人目



大関昇進の伝達を受け、笑顔を見せる照ノ富士。両脇は伊勢ヶ浜親方夫妻。27日午前、東京都江東区の伊勢ヶ浜部屋

日本相撲協会は27日、東京・両国国技館で大相撲名古屋場所（7月12日初日・愛知県体育館）の番付編成会議と臨時理事会を開き、鳥取城北高出身の大関照ノ富士（23）＝本名ガントルガ・ガンエルデネ、モンゴル出身、伊勢ヶ浜部屋＝の大関昇進を満場一致で決めた。東京都江東区の伊勢ヶ浜部屋で昇進を伝達された照ノ富士は「慎んでお受けします。心技体の充実に努め、今後もさらに上を目指して精進します」と口上を述べた。

平成生まれでは初の屋場所後に昇進した元大関となる。新大関の誕生は昨年名古屋場所後の豪栄道以来で、モンゴル出身力士では2012年春場所後の鶴竜以来5人目。

照ノ富士は24日千秋楽の夏場所で12勝を挙げて初優勝。三役を2場所で通過して大関に昇進するのは吉葉山以来64年ぶりという異例で、年6場所制となった1958年以降では初めて。初土俵から所要25場所、新入幕から8場所での昇進は、ともに年6場所制以降で3位のスピード記録。

鳥取城北高出身力士では、2007年名古屋場所後に昇進した元琴光喜以来2人目。

照ノ富士 春雄（てるのふじ）はるお＝本名ガントルガ・ガンエルデネ（モンゴル・ウランバートル出身、伊勢ヶ浜部屋。相撲留学した鳥取城北高から間垣部屋に入門し、11年5月の技量審査場所初土俵。部屋閉鎖により13年3月に移籍。14年春場所新入幕。関脇2場所目のことし夏場所で初優勝。殊勲賞1回、敢闘賞3回。得意は右四つ、寄り。通算169勝87敗。191センチ、178キログラム。23歳。